

事業名	血液対策費			調書番号	49
細事業名	献血制度推進事業費	財務コード	087402		
担当部課室	福祉保健 部	衛生薬務 課	生活衛生 担当 (内線)	3464	

I 事業の概要

実施期間	始期 S39 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>県民</td> <td>献血の必要性を理解している。</td> <td>手術等に必要血液製剤の安定供給の確保</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	県民	献血の必要性を理解している。	手術等に必要血液製剤の安定供給の確保
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
県民	献血の必要性を理解している。	手術等に必要血液製剤の安定供給の確保					
内容	<p>○献血確保目標を含む「山梨県献血推進計画」の策定と周知 献血推進計画策定検討会(年2回、4月、2月)、献血推進計画市町村説明会</p> <p>○献血思想の普及啓発及び広報活動 愛の血液助け合い運動(7月)、はたちの献血キャンペーン(1月)、献血推進功労者の表彰、甲府駅ビルセレオに懸垂幕(7月、1~2月)掲出。</p> <p>○山梨県献血推進協議会の開催</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	①啓発資材配布数 ②キャンペーン回数	目標	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回
		実績(見込)	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回	①62,000個 ②2回
		達成率						
		達成区分						
成果指標	献血者数(人)	目標	32,906	31,750	34,436	30,640	30,312	32,019
		実績(見込)	33,713	33,198	33,745	32,679	32,598	32,019
		達成率	102.5	104.6	98.0	106.7	107.5	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		1,400	1,537	1,837	1,996	1,728	2,263	2,191

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	普及啓発及び広報活動など、予定どおりの活動が実施できた。
成果指標	b		「愛の血液助け合い運動」「はたちの献血キャンペーン」の街頭PRや啓発資材やリーフレットの作成・配布などの効果により、献血者数、血液確保量ともに日本赤十字社から割り当てられた目標を達成しており、意図した成果を上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	人口減少などで血液確保が将来的に困難にならないために、広く県民に呼びかける運動の展開と、若年層に対する献血思想の普及啓発などが有効である。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	経費節減などの観点から、これまで必要な改善は図ってきた。
見直しの必要性	無	献血推進協議会の運営方式を見直したり、献血運動推進大会を廃止するなどの事業改善を、必要に応じて行ってきた。

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	経費節減など必要な事業改善は図ってきた。
-------	----	----------------------

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。